

2015年度 卒業生アンケートへのコメント

FD委員会

アンケートにご協力、ありがとうございました。以下に、FD委員会としてのコメントを述べさせていただきます。

1. 集計結果について

①在学中の経験と卒業後の関連

在学中の経験では、アルバイトが約9割、在学中の資格・免許取得と部・サークル活動は約8割、ボランティア活動は約7割、インターンシップと国際交流は1割未満でした。このうち、ボランティア活動の経験がある人は、ない人よりも、本学を誇りに思い、勧めたいと思い、本学で得た知識や経験及び人とのつながりや人脈がその後の人生に役立っていました。

大学生の成長に関する調査研究で、正課内の学習と正課外の活動が心理的・社会的成長をもたらすことが明らかになり、今日の大学教育においては正課外の活動も重視されるようになりました。

本学は、建学当初から、ボランティア活動に力を入れています。その教育的効果が卒業後にもみられることが明らかになりました。今後も、ボランティア活動の支援の充実に努めてまいりたいと思います。

国際交流は低い結果でしたが、充実に取り組んでいるところです。本学の使命として、学則では「人類の幸福の追求と国際社会並びに地域社会の発展に貢献すること」を掲げています。また、今日、グローバル化が進み、国内においても多文化共生社会・多文化共創社会へと移行しつつあります。そのような背景を踏まえ、本学は、早くから、スロベニアの大学との交流を初めとする海外大学との交流、「海外ボランティア活動」「海外インターンシップ」に取り組んできました。そして、2014年度には、「国際・グローバル化」を特色ある学修の一つとして掲げ、「国際化ビジョン」を策定し、国際交流センターを全学的に取り組んでいます（本学ホームページの「特色ある学修・資格・科目」「国際交流センター」参照）。学内での国際交流及び留学学生も増えつつあります。今後、さらに充実させてまいりたいと思います。

インターンシップも低い結果でしたが、背景として、本学は資格取得に伴う実習をしている学生が多いということが考えられます。しかしながら、企業志望においては、インターンシップが重要となっています。本学ならではのインターンシップとして、海外インターンシップのほか、障がいを持つ学生を対象としたインターンシップや地域共創インターンシップも実施しております（本学ホームページの「インターンシップ」参照）。

②在学中の学内施設の利用と卒業後の関連

在学中の学内施設の積極的利用は、「ややそう思う」「非常にそう思う」を合わせると約7割で、20歳代が他の年代より高い結果でした。また、学内施設を積極的に利用した人ほど、本学を誇りに思い、勧めたいと思い、本学で得た知識や経験及び人とのつながりや人脈がその後の人生に役立っていました。

大学生の成長に関する調査研究では、学内の施設・設備の利用と教職員とのコミュニケーションも心理的・社会的成長に影響することが明らかになり、今日の大学教育では学習環境も重視されております。本学としても、施設・設備の整備・充実と情報発信・利用促進に努めております。今回のアンケートで施設・設備の利用が卒業後にも影響することが明らかになり、いっそうの充実と情報発信・利用促進に努めてまいりたいと思います。

③在学中の学び

身に付いたこととして、「チームワーク」「コミュニケーション技能」「専門的な知識」が高く、「自然に関する知識」「数量的技能」「本学のキャリア教育の姿勢（自らかかわり、考え気づき、アクションを起こすこと）」「建学の精神と教育理念」「日本や世界の文化に関する知識」は低い結果でした。また、卒業後に役立っている知識や経験の学びは、「コミュニケーション技能」「数量的技能」「チームワーク」「統合的な学習経験と創造的思考力」「専門職業人としての倫理観」「建学の精神と教育の理念」でした。人脈が卒業後に役立つための学びは、「コミュニケーション技能」「チームワーク」「人間力や社会力を身に付け、人とのつながりや人脈を得ること」でした。「コミュニケーション技能」「数量的技能」「チームワーク」「統合的な学習経験と創造的思考力」が身に付いたと思う人は本学を誇りに思う人が多く、さらにその4つに加え「専門的な知識や技能」「キャリア教育」が身に付いた人は本学を勧めたいと思う人が多くいました。また、卒業後に役立っている知識や経験の学びと人脈が卒業後に役立つための学び（「コミュニケーション技能」「数量的技能」「チームワーク」「統合的な学習経験と創造的思考力」「専門職業人としての倫理観」「建学の精神と教育の理念」「人間力や社会力を身に付け、人とのつながりや人脈を得ること」）は本学の人材育成の目標の達成と関連していることが明らかになりました。

今回の結果を踏まえると、「数量的技能」「建学の精神と教育の理念」の充実・強化が望まれることが明らかになりました。このうち、「建学の精神と教育の理念」については、2011年度より、リエゾンゼミのWebテキスト「リエゾンゼミ・ナビ『学びとの出会い』」において「建学の精神と教育の理念を知ろう」を公開し、初年次のリエゾンゼミの1回目の授業で取り上げています（本学ホームページの「リエゾンゼミ・ナビ『学びとの出会い』」参照）。そして、2015年度より、総合基礎教育を「リエゾン型総合基礎教育」へと改編し、「禅のこころ」の他にも、「仏教入門（建学の精神・理念を含む）」を設けて充実させました（本学ホームページの「リエゾン型総合基礎教育」参照）。「数量的技能」については、リエゾンゼミのWebテキスト「リエゾンゼミ・ナビ『学びとの出会い』」において、2011年度に「エクセルで表やグラフを作ろう」を公開、2015年度に「表やグラフを使って賢く考えよう」を公開しました。また、「学士力関連コモンルーブリック」として「数量的技能」を公開予定です（本学ホームページの「ルーブリック評価」参照）。今後、数量的技能の向上に向けていっそうの取り組みに努めてまいりたいと思います。

なお、「自然に関する知識」「日本や世界の文化に関する知識」については、2015年度の「リエゾン型総合基礎教育」への改編により充実をはかりました。「本学のキャリア教育の姿勢（自らかかわり、考え気づき、アクションを起こすこと）」は、2007年度採択の現代GPによるリエゾン型キャリア教育に伴って設定されたもので（本学ホームページの「リエゾン型キャリア教育」参照）、企業からの意見聴取でも高い評価を受けています。今後、さらに情報発信に努めてまいりたいと思います。

④在学中の満足度

「教育内容・方法」「学生生活に対する支援」「資格取得・就職支援・キャリア形成支援」「学生生活や勉学をサポートする施設・設備」「卒業後の支援」のいずれにおいても満足という結果でありましたが、相対的には「教育内容・方法」が最も高く、「卒業後の支援」が最も低い結果でした。また、いずれの満足度も高い人ほど、本学を誇りに思い、勧めたいと思い、本学で得た知識や経験及び人とのつながりや人脈がその後の人生に役立っていました。本学では、キャリアセンター・リカレント室で卒業後の支援を行い（本学ホームページの「卒業後の支援体制」参照）、同窓会事務局で卒業生への各種サービスに取り組んでいます（本学ホームページの「同窓会」の「会員サービス」参照）。今後、学科等を通じた卒業後の支援にも努めてまいりたいと思います。

2. 「東北福祉大学で学んだ経験の中で人生の糧になったこと・人生に役立ったと思うこと」について

最も多かったのが、部活・サークル活動、ゼミを通じての人とのつながりや出会いでした。また、人としてあるいは専門職としての基本的な考え方や姿勢を学べたことも挙げられました。本学は「福祉の心」を基礎として「人間力」「社会力」を持った人を育てることをめざしていますが、そのことが卒業後にも支えとなって生かされていることが感じられました。人とのつながりや出会いを大切にしたい教育にいつそう努めてまいりたいと思います。

3. 「東北福祉大学の現在の教育について改善してほしいこと・要望すること」について

最も多かったのが、人材育成にもっとエネルギーを注いでほしいという要望でした。真摯に受けとめ、全学的にお伝えさせていただき、学科等を通じていつそう取り組んでまいります。なお、これまでの本学の人材育成の方針と取り組みについては、本学ホームページの「大学紹介」に掲載の「大学の概要」、「研究・社会貢献」に掲載の「東北福祉大学の挑戦 ー地域共創に向けてー」、「学部・大学院」に掲載の「リエゾン型総合基礎教育」及び「学科の理念」等をご参照ください。

将来ビジョンの明示、教員の教育力の向上、職員の能力向上、教育体制や学習環境の充実を望む声もいただきました。真摯に受けとめ、関係部署に報告させていただきます。

なお、2015年度より、授業評価を全授業について行い、向上・改善の目標を設定し、学生にも公開することになりました。また、全学、学部学科と部署、教員個人における自己点検・評価と改善を毎年実施することになりました。今後も、向上と改善に努めてまいります。

※教職員の能力向上の取り組みについては、「教職員向けFD/SD」のホームページ（本学ホームページのトップページのバナー）をご参照ください。

4. 「卒業生への支援（同窓会会員サービスを含む）として望むこと」について

主な要望としては、①卒業生をもっと大切にして支援・活用をしてほしい（他大学は活発に支援・活用）、②卒業生同士のつながりの充実やネットワークの強化（コミュニティサイト、同窓生のSNS、県単位同窓会以外の集まり、勉強会の開催、縦のつながりの交流、人脈づくりなど）、③卒業生に対する社会人学びなおし・生涯学習の支援（卒業後の再学習や資格取得の支援、大学院への進学支援、通信制大学院教育学研究科の新設希望など）、④卒業生就職支援・大学貢献（在校生との交流・懇談、卒業生による講演会・セミナーなど）、⑤同窓会報の充実（教員の近況コーナー、法改正のお知らせ、既卒者求人掲載、ゼミ報告等の現役と既卒の橋渡し、既卒者の職場での活躍のコーナー、メルマガなど）、⑥東北福祉大学グッズ、⑦同窓会への要望（同窓会報が届かなくなった、同窓会の案内が来なくなったなど）がありました。ご指摘いただいた通りと思います。同窓会事務局、広報課、関係部署、学科等にお伝えさせていただきます。